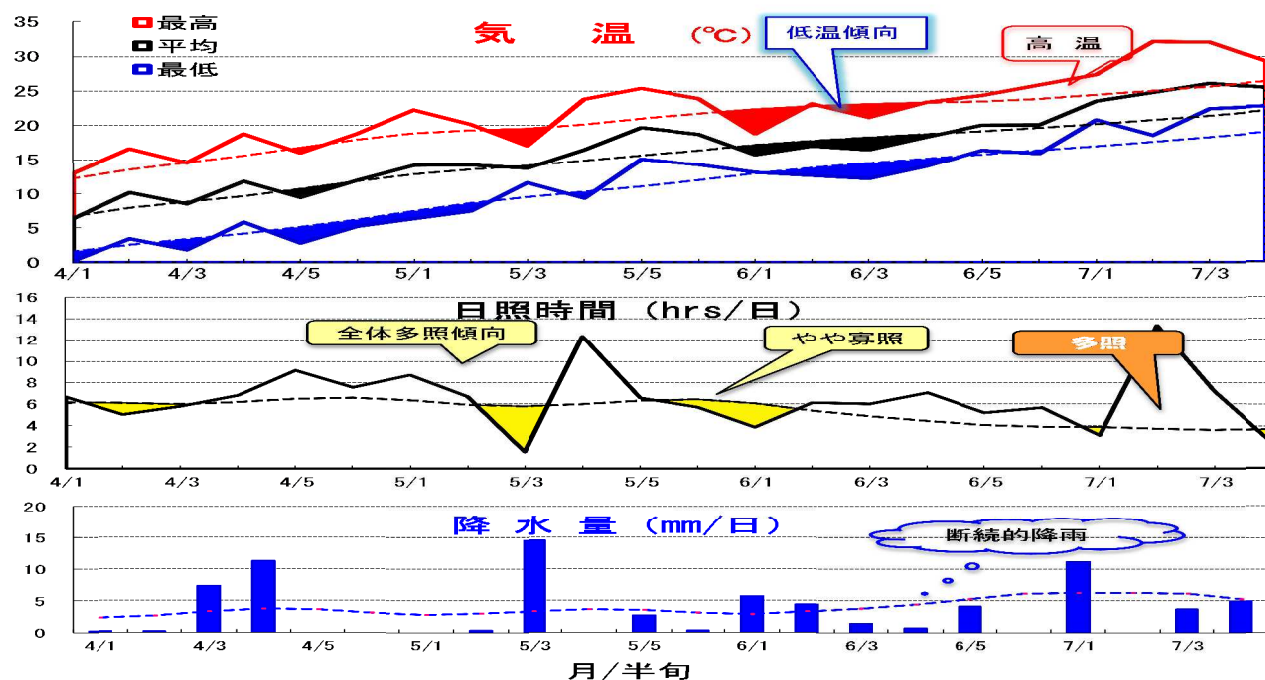


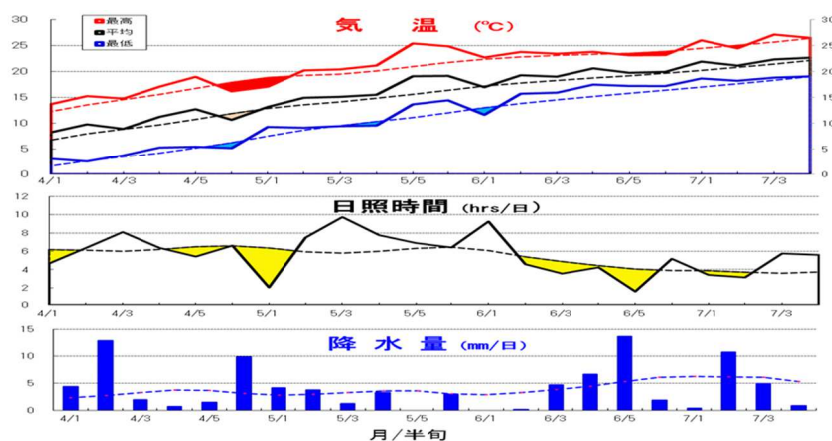
～天候の回復で草丈・茎数「並」「やや多い」、最重要な減分期へ！！～

1 気象経過



- ・ 6月下旬以降7月に入って気温は、かなり高温が続いている。
- ・ 日照時間は期間を通じて多照傾向で、特に6月以降多照となっている。
- ・ 降水量は、一時期降雨があるものの、空梅雨で少雨傾向である。

【参考：平成28年の気象】



2 生育状況

〔7月10日現在〕

- ・ 草丈は58.0cm(平年比98%), m²当たり茎数は575本(平年比104%), 葉数は10.8枚(平年比+0.1) 葉色はGM値が40.0(平年差+2.3)となっている。
- ・ 幼穂長は1.5mm(平年差-1.2mm)で、幼穂形成始期は平年並みの7月9～10日頃であった。
- ・ 本年の出穂期は平年並みの8月5日頃になる見込みである。
- ・ まもなく減数分裂期(7月21～26日頃)を迎えることから、幼穂長を確認すること。

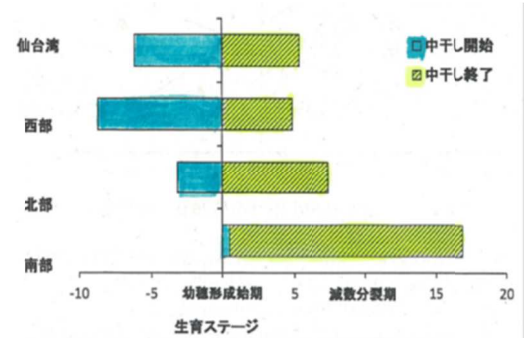
品種別生育状況(7月10日現在, 県生育調査圃)

県全体	草 丈			茎 数			葉 数			葉 色			幼穂長 (mm)		
	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本 年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)	本 年	前年差	平年差
	58.0	93	98	575	109	104	10.8	▲ 0.0	0.1	40.0	1.3	2.3	1.5	▲ 2.1	▲ 1.2

3 今後の管理

(1) 水管理

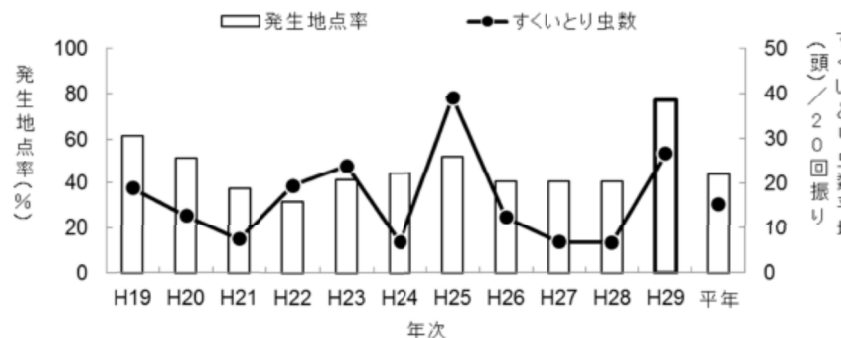
- ・高温が続いており, 幼穂発育期間にもかかわらず, 水のない圃場も見受けられるの, 品質維持や収量確保のため, 圃場を良く見回り, 湛水すること。
- ・昨年の例を見ると生育ステージに合わない中干しで品質低下が見られたので, 幼穂の発育を良く観察して管理する。(減数分裂期 3cm~12cm)



(2) カメムシの発生と防除 (発生予察注意報 2 号)

【アカスジカスミカメ (本県の主要カメムシ)】

- ・防除所調査の水田周辺雑草等で発生地点率が, 77%と過去 10 年で最も高かった。
- ・出穂前 10 日までに草刈りを終える。
- ・出穂期以降の防除対策 (薬剤防除) は穂揃期とその 7~10 日後の 2 回防除が基本で品種や圃場にあわせて防除する。



(3) 肥培管理

- ・圃場で主茎を数本抜いて, 幼穂の発育状況を確認し肥培管理に努める。

(幼穂形成期: 幼穂長 1~2mm, 減数分裂期 3~12cm) [下表は前号再掲]

県全体の出穂予想 8月3日 (平年 8月5日) 高温のため早まる ことが予想され る。	地帯区分	田植時期	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
	北部平坦	5/2~5/19	7/4~7/13	7/14~7/23	8/2~8/9
	南部平坦	5/3~5/19	7/2~7/11	7/12~7/21	7/31~8/6
	仙台湾岸	5/3~5/23	7/4~7/16	7/14~7/26	8/2~8/10
	西部丘陵	5/7~5/26	7/6~7/18	7/16~7/28	8/4~8/13
	山間高冷	5/7~5/27	7/16~7/23	7/26~8/2	8/14~8/21
	三陸沿岸	5/7~5/25	7/12~7/20	7/22~7/30	8/11~8/17

- ・葉色のピークが遅れているが, 今後低下すると思われ葉色の維持に努める。
- ・追肥は, 通常通りとするが, 葉色を見ながら, 一発肥料施用でも追肥を検討する。